

8.20 広島大規模土砂災害 被災したアルバム・写真の保全活動

広島県立文書館

平成 26 年 8 月に広島市で発生した大規模土砂災害では、甚大な被害があり、猛暑の中、消防、警察、自衛隊、ボランティアの方々が復旧にたずさわりました。そして、災害復旧の活動の中で、土砂や瓦礫の中から数多くのアルバムや写真などが救出されています。ここでは、当館が中心となって、歴史資料ネットワーク（史料ネット）のメンバーの応援と写真メーカーの協力を得ながら、地元の高校生や先生方のボランティアとともに取り組んだ、約 2000 枚の被災写真の保全活動について紹介します。

1 被災資料の受け入れ

被災から 10 日後の 8 月 31 日、ボランティアにより救出された被災写真やアルバムの修復の依頼があり、段ボール箱 5 箱分の被災資料が当館に搬入されました。アルバムは透明シート付きのタイプ 16 冊で、土砂に流されてアルバムの綴じ部分が破損し、ばらばらになったものもあります。



■アルバムの外側は表裏・天地とも泥がこびりつき、匂いもかなりひどい。



■アルバムの中の写真も、水に濡れた状態でバクテリアの繁殖による劣化が進み、画像がマーブル状に溶け出しているものも多い。



【作業手順】

- ① 会議室の床に段ボールを敷き、被災したアルバムをひろげ、アルバムごとに番号をつけて現状をカメラで記録する。
- ② アルバムの表面や内部に粘土状に付着している泥を、1 ページずつ開きながらヘラなどで丁寧に落としていく。
- ③ 泥汚れを取り除いたアルバムの写真の現状を、1 ページごとにカメラで撮影する。

■インターンシップ生 3 名も作業に参加。

2 史料ネットの応援

9 月 5 日と 8 日に、神戸市の史料ネットのメンバーが来館し、アルバムから写真を取り出す作業を指導・サポートしてくださいました。作業上注意する点なども細かくアドバイスがあり、必要な用具なども持参してください、一気に作業が前に進みました。



■濡れた状態のアルバムは、立てて乾燥させた。透明シート内にも水が入り込んでいるため、なかなか乾燥しにくい。

【作業手順】

- ① 作業の前に、写真を 1 枚ずつカメラで撮影する。
- ② アルバムを解体して写真を台紙から剥がして取り出す。
- ③ 取り出した写真は、新聞紙の上にひろげて乾燥させる。



■透明シートをゆっくり剥がして写真を取り出す。

■パレットナイフなどを使うと、写真を取り出しやすい。

■画像がマーブル状になっている写真や、透明シート面に画像が転写されている場合は、シートを無理に剥がすと画像が流れてしまうので、そのまま乾燥させた。

■アルバムには、コメントなどを記入した紙片や、旅行のチケット類などが貼ってあったので、すべてアルバムから取り出して、写真と一緒に保存した。



3 写真メーカーの協力

写真メーカーの富士フィルムは、東日本大震災後、「写真でつながるプロジェクト」として、被災写真の救出を支援し、洗浄方法などを動画で公開しています。同社に被災写真への対処を問い合わせていたところ協力の連絡があり、9月18日、同社から3名が来館し、写真洗浄の指導をしていただきました。



■水に濡れてバクテリアの繁殖が進み、画像が劣化していると、取り出す時に画像を損傷することがあるので注意が必要。



【写真洗浄の作業手順】

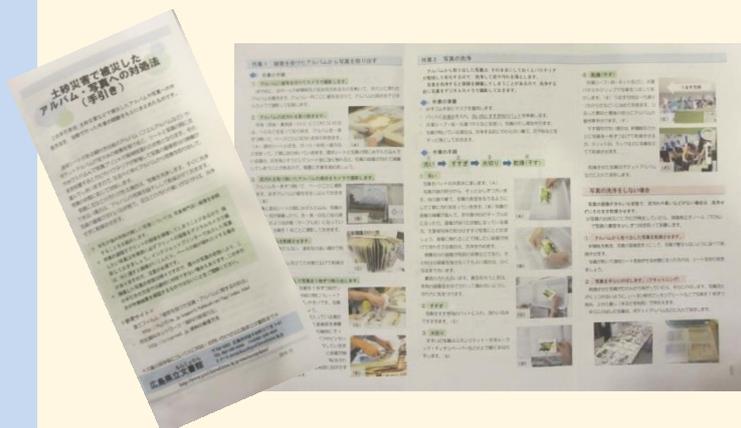
- ① バットのの水で洗う。
- ② きれいな水ですすぐ。
- ③ 写真の水を切る。
- ④ 乾燥（干す。）

■洗浄後の写真（右）
写真の周囲の白い部分は、画像がマール状に溶けていた箇所。



■ 被災写真への対処法（手引き）の作成

■今回の写真保全活動の経験をもとに、被災したアルバムや写真への対処法をまとめた手引きを作成して、写真の乾燥・洗浄作業の参考にできるようにインターネットで公開しています。手引きでは、作業手順を、【被害を受けたアルバムから写真を取り出す】、【写真の洗浄】、【写真の洗浄をしない場合】に分けて説明し、作業に必要な用具類と作業上の注意も記載しました。



4 高校生ボランティアの力

10月11日、広島県立高陽東高等学校に同校生徒48名（バスケット部、バレー部、生徒会など生徒有志）と教職員、史料ネット、富士フィルム、当館職員など60名がボランティアとして集合しました。水場のある生物教室で写真を洗浄→すすぎ→水切りの工程を行い、干し場の教室で写真を乾燥させました。



■参加者は10班に分かれて、写真の洗浄作業を行った。高校生たちのまなざしは終始真剣だ。史料ネットや富士フィルムの方々、先生方のサポートで、約2000枚の写真の洗浄を1日でほぼ終了した。



■干し場の教室では、高校生たちが、写真を手際よくロープに洗濯バサミで挟み、つるしていく。



■10月14日にも、授業の一環として、高校生たちと一緒に11日に洗浄した写真をポケットアルバムに収納する作業と、残りの写真の洗浄・乾燥作業を行った。修復を終えた写真は、後日、被災した所蔵者へ届けられた。